

自治会アンケート集計結果について

1. 調査目的

コロナ禍での自治会活動における課題のほか、現在自治会が抱える課題を把握し、今後の本市の自治会支援策の参考とするとともに、自治会の皆さまに情報を共有することを目的とする。

2. 調査対象

さいたま市内の自治会長（862自治会）

3. 調査方法

自治会長へ郵送によりアンケート用紙を配布。回答は、アンケート用紙の返送またはインターネットでの回答のいずれかを選択。

4. 調査期間

令和3年9月1日～令和3年9月17日

5. 回答数及び回答率

回答数：728自治会

回答率：84.5%

6. 調査項目

- 1 コロナ禍における自治会活動について
- 2 自治会活動のICT活用について
- 3 自治会の運営上の課題について（コロナ影響以外）

7. 集計結果の留意点

- ・各回答の集計結果は、百分率で表示。
- ・百分率は、総数n値（回答数）＝728に対する各回答実数の比率。
- ・複数回答の設問や、設問に対して未回答のものが含まれるため、比率の合計は100%にならない場合があります。また、グラフ等においては、未回答は表示していません。

1 コロナ禍における自治会活動について

(1) コロナ禍における各活動の実施状況

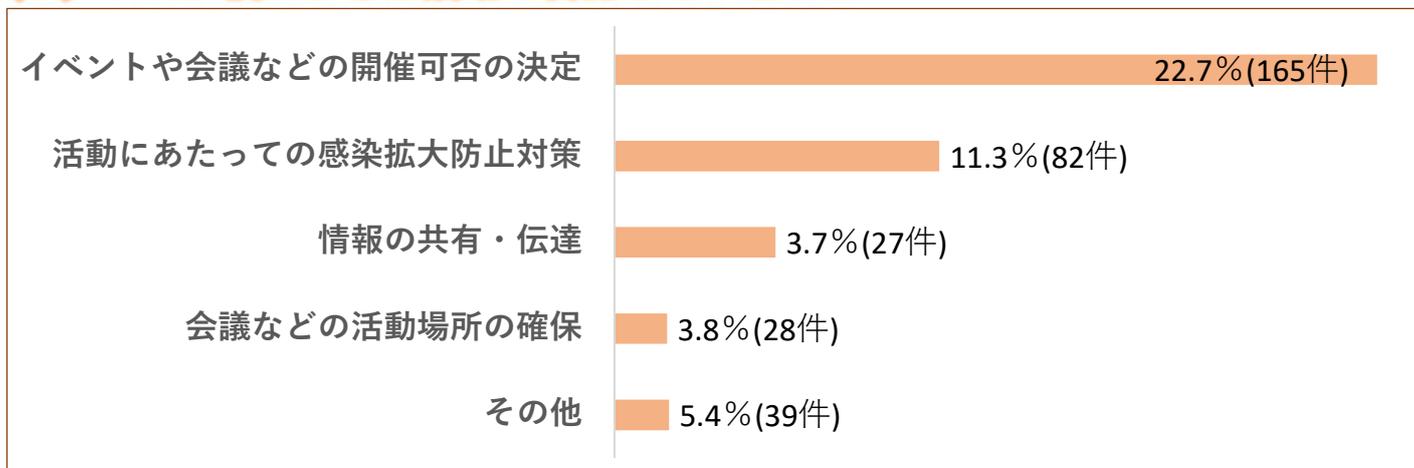
	活動内容	例年どおり実施	工夫して実施	できていない
1	自治会加入促進活動 (引越してきた方等への訪問など)	59.5% (433件)	21.3% (155件)	17.2% (125件)
2	会議、打合せ (総会の実施など)	15.4% (112件)	73.6% (536件)	9.6% (70件)
3	回覧板などによる情報の共有・伝達 (回覧板の実施、掲示板の管理など)	84.2% (613件)	13.6% (99件)	1.6% (12件)
4	防災活動 (避難訓練の実施など)	17.9% (130件)	43.4% (316件)	36.1% (263件)
5	防犯活動 (防犯パトロール、見守りなど)	35.2% (256件)	33.2% (242件)	29.1% (212件)
6	交通安全活動 (登下校時の見守り、啓発活動など)	45.5% (331件)	19.5% (142件)	30.4% (221件)
7	環境美化活動 (清掃活動、花壇の管理など)	41.9% (305件)	39.0% (284件)	16.6% (121件)
8	社会福祉活動 (高齢者サロン、敬老会など)	7.8% (57件)	35.2% (256件)	54.8% (399件)
9	おまつり・イベントの開催 (夏まつり、バス旅行など)	0.8% (6件)	4.9% (36件)	92.0% (670件)
10	健康づくり・スポーツ・レクリエーション (運動会、ラジオ体操など)	4.8% (35件)	16.2% (118件)	74.9% (545件)
11	会費の徴収 (各戸への徴収事務)	76.0% (553件)	18.4% (134件)	4.8% (35件)

(2) 活動において工夫した点、新しく始めた取組

- ・ 総会等を書面で開催する。
- ・ 集まって会議を行う際の検温や消毒等感染予防対策を徹底する。
- ・ 自治会員同士の連絡にLINEなどのSNSを活用する。
- ・ 小規模な会議はZoomやLINE等を活用する。
- ・ イベントの規模縮小、物の配布のみに留める等の工夫をする。 等

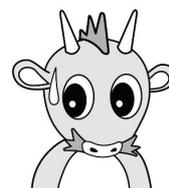
1 コロナ禍における自治会活動について

(3) コロナ禍における活動で苦勞していること

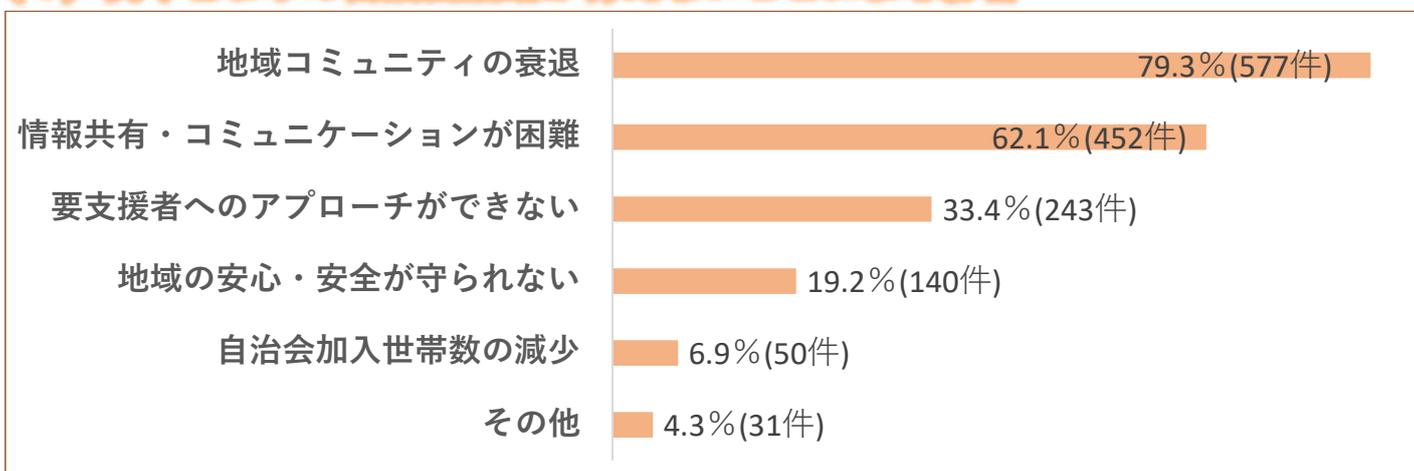


◎「その他」の主な意見等◎

- ・ イベントが実施出来ない事への対応やその後の判断が難しい。
- ・ 班長や役員の交代、引継ぎの調整が難しい。
- ・ 公共施設が閉鎖された場合、代替施設を見つけることが困難。 等



(4) 例年どおりの自治会活動が行えないことによる影響

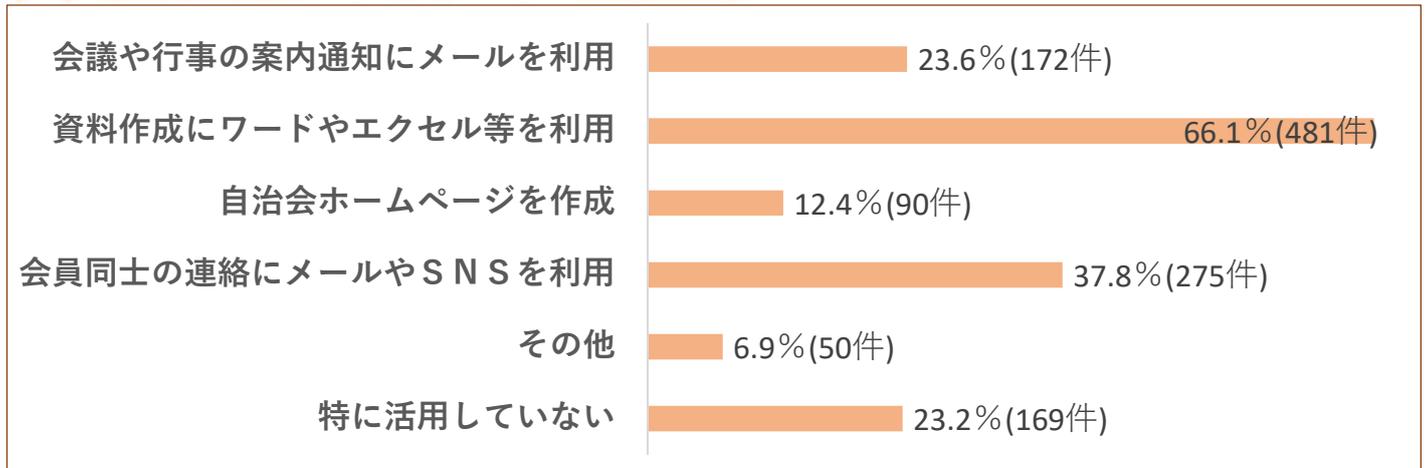


◎「その他」の主な意見等◎

- ・ イベントへの参加意欲の低下、連帯感の低下が懸念される。
- ・ イベントが出来ない事で運営ノウハウが継承できず、イベントを再開した際にスムーズな運営を実施できるのか懸念される。
- ・ 自治会員の意見をうまく集約できない。
- ・ イベントを開催しなかった分、自治会費の減額を要求される。
- ・ 活動休止に伴って発生した余剰予算をどのようにすべきか悩ましい。 等

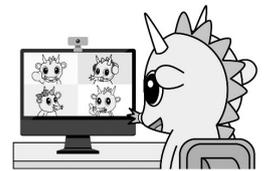
2 自治会のICT活用について

(1) 自治会活動におけるICT活用状況

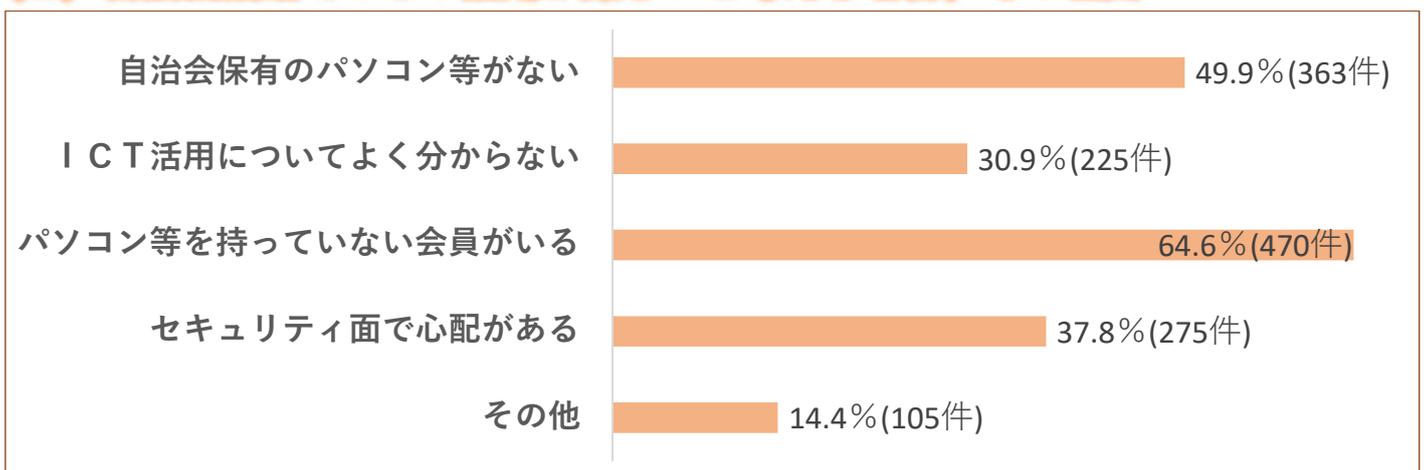


◎「その他」の主な意見等◎

- ・役員間の連絡については、LINE等を活用している。
- ・Zoom等を活用してリモート会議を行っている。
- ・LINEの機能を活用して資料を共有している。
- ・自治会の周知活動としてFacebookやInstagramを活用する計画がある。
- ・総会の表決にGoogle formを活用している。 等



(2) 自治会活動でICT活用が難しいと考える場合、その理由

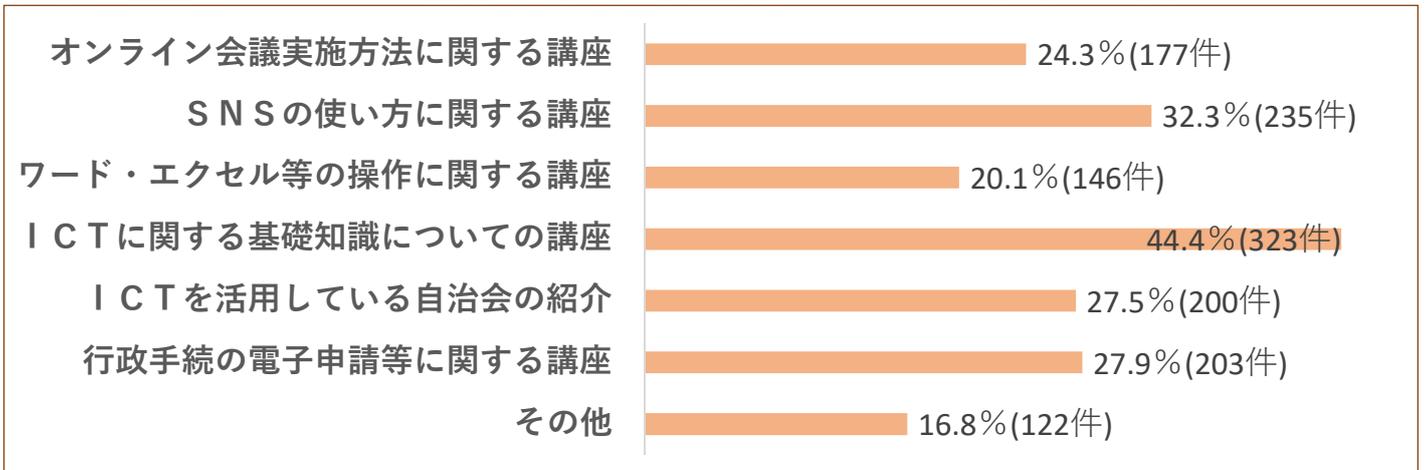


◎「その他」の主な意見等◎

- ・パソコンやスマートフォンを持っていない、持っていて使えない人が多い。
- ・高齢者を中心にICTに対する忌避感が強く、導入は困難である。
- ・個人情報保護の観点からメールアドレス等の連絡先を入手できない事がある。
- ・ICTに関連した設備を整備する点で問題がある。(費用面等) 等

2 自治会のICT活用について

(3) 自治会へのICT活用に関する支援策はどのようなものが良いか

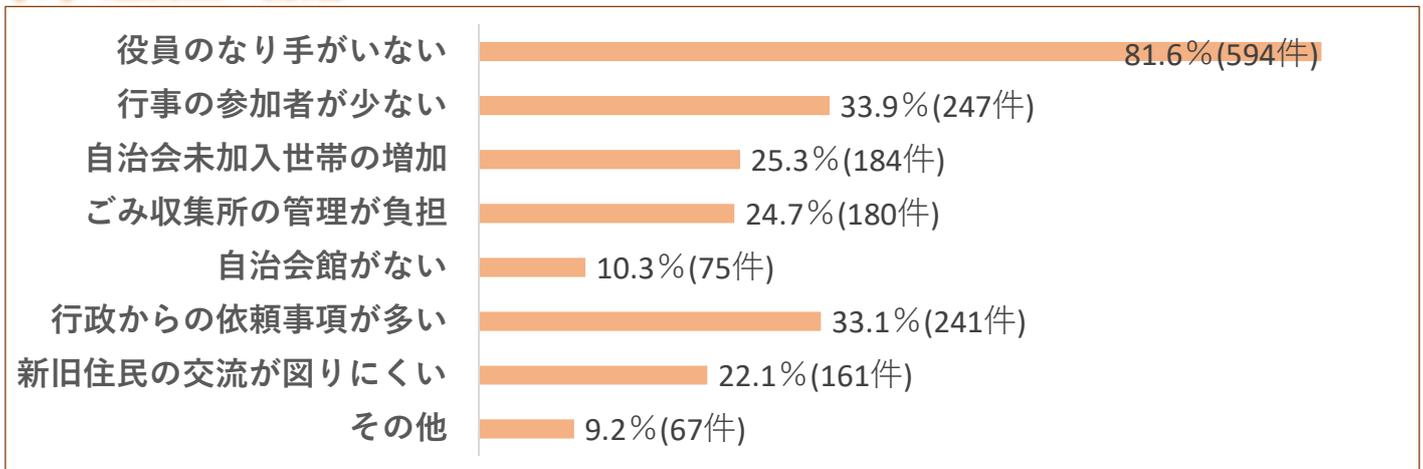


◎「その他」の主な意見等◎

- ・パソコンやタブレット端末購入に係る費用や使用料について補助金等の支援が必要。
- ・端末自体の配布といった支援が必要。
- ・支援は不要、従来のやり方で十分なのでICTを進める必要性がない。 等

3 自治会運営上の課題について（コロナ影響以外）

(3) 運営上の課題



◎「その他」の主な意見等◎

- ・自治会員の高齢化により円滑な活動が行うことができず、支障が出ている。
- ・マンション入居者の未加入者が多い。
- ・行政側への申請については手間が多い。
- ・自治会館の維持や賃料等に関する問題が多い。 等

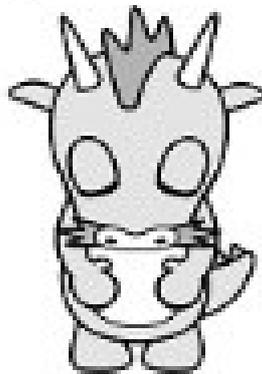
(4) 課題解決の成功例

- ・メールやSNS（LINE等）を用いた情報伝達による事務負担の軽減、効率化
- ・インターネットでの情報発信強化
- ・グランドゴルフ等の同好会活動やイベントを通じてコミュニケーションを図り、自治会役員に参加してもらうことができた。
- ・子供やその保護者が参加できる行事を実施している。
- ・輪番制を整え、役員の交代が円滑に進むよう心掛けている。 等

3 自治会運営上の課題について（コロナ影響以外）

(5) その他、自治会活動に関する意見

- ・ 高齢化に伴い、自治会を担う人材が不足している。（会長や役員だけでなく、退会も問題になっている。）
- ・ 定年延長制度により地域社会の担い手は増々少なくなっている現状がある。
- ・ 行政への申請が複雑で事務が煩雑になりがちであるため、シンプルにして欲しい。
- ・ 行政からの依頼事項が多く行政の下請けの様になっており、非常に負担になっている。
- ・ 行政とのやり取りを電子化してほしい。
- ・ 若い世代は自治会加入のメリットを感じておらず、未加入世帯も多い。メリットをどのようにアピールしていくかが課題になっている。
- ・ 自治会の活動以外に外部団体にも参加を求められる事があるが、自治会活動だけでもマンパワーが不足している中では厳しい。
- ・ 会長や役員の活動に対して報酬を支払うことができれば、担い手が少しは現れるのではないか。 等



ご協力ありがとうございました。